

緑の相談所だより

[10・11月号 ~ 1990・9・30 発行 ~]

季節の花言葉

日時：10月7日(日) いちよう・・・長寿・荘厳
午後1～3時

■ばら、山草、庭木類の越冬準備
講師 村田正一 相談員
小島博昭 相談員
(旭川市緑の相談所)

11月予定

日時：11月11日(日)
午後1～3時

■鉢物冬の過ごし方

講師 村田正一 相談員

(旭川市緑の相談所)

行事案内

■セントポーリアについて

講師 千田タケコ

(旭川セントポーリア愛好会)

* いずれの行事も、一般市民の方の参加をお待ちしております。お問い合わせ/お申し込みは、旭川市緑の相談所(神楽岡公園・上川神社横)

☎65-5553

きく・・・高尚

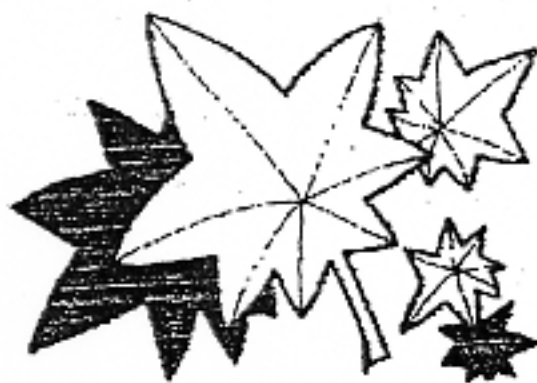
もみじ・・・無口・遠慮・内気

まゆみ・・・あなたの魅力を心にきざむ

神

楽

岡



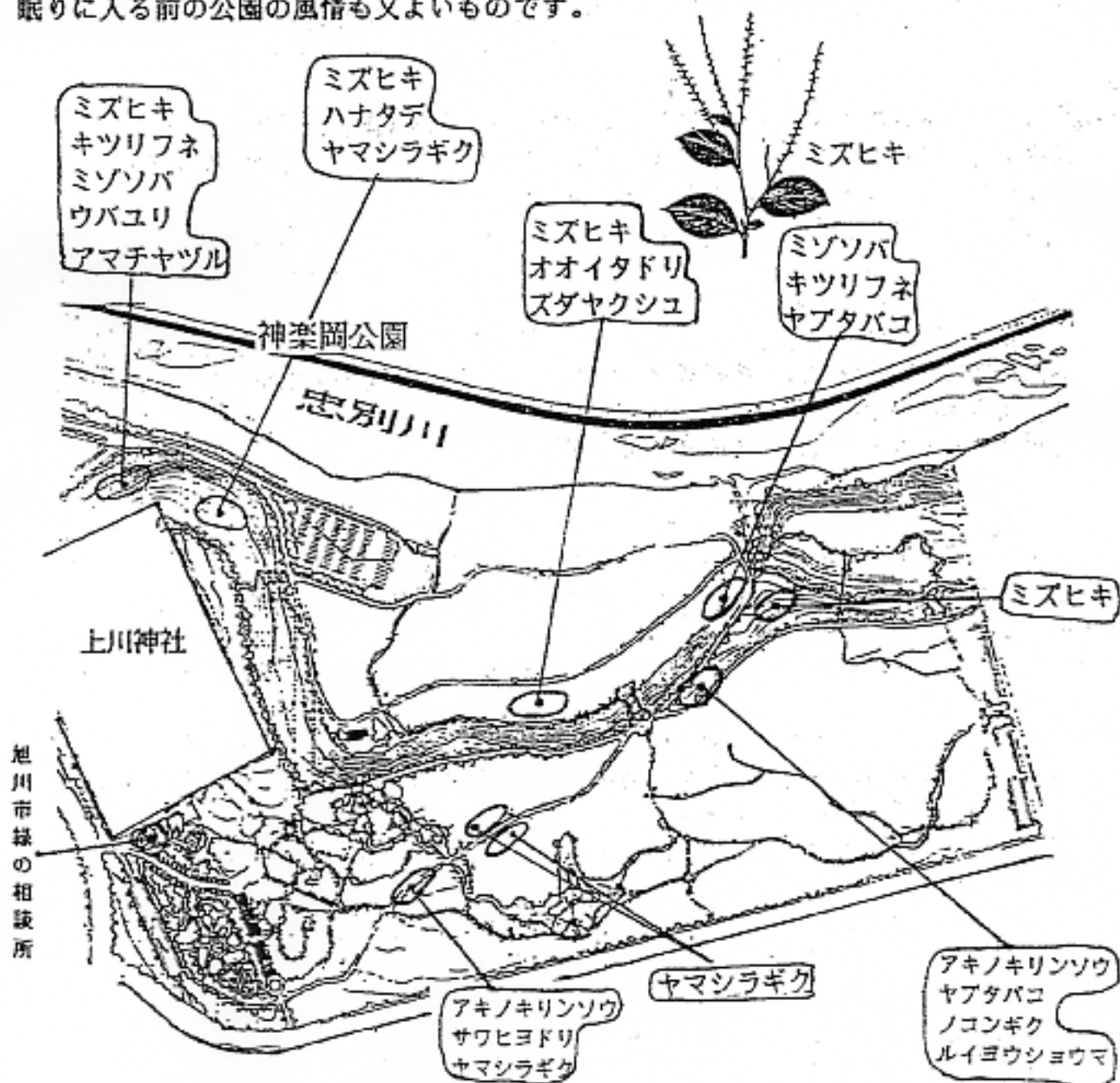
し

う

も

公園で楽

秋、紅葉（黄葉）の季節になりました。秋の林内にも結構花が咲いているものです。眠りに入る前の公園の風情も又よいものです。



秋植え球根の植えつけ

秋植え球根の植えつけの適期は9月中旬ころから10月中旬ころまでです。まだ植えてない場合は急いで植えてください。

・チューリップ・クロッカス・ヒヤシンス・ムスカリ・スイセン・ユリなどその他いろいろあります。

Q & A

問 シャコバサボテンを買ってきて居間に置いたのですが、2～3日でつぼみがほとんど落ちてしまいました。水は与えていたのですがなぜでしょうか。

答 シャコバサボテンはデリケートな植物で、環境（温度、湿度）が急に変わるとつぼみを落してしまいます。特に温度が高くて空気が乾いた室内の場合は落ち方がはなはだしくなります。つぎのことに気をつけましょう。

- ・つぼみが小さいほど落ちやすいので、1cm以上の大きさのものを選ぶ。
- ・暖房していない温度の低い所にしばらく置いて様子を見る。慣れてから居間に移すが、なるべく温度の低い所に置く。
- ・水やりが多いとつぼみを落としやすいので、慣れるまでしばらく水やりをひかえる。葉（茎節）には霧吹きで1日に数回霧水を与える。花が開き始めたら水を与えるが過湿にならないよう気をつける。
- ・肥料（ハイポネックス）1500倍液を週1回与える。

問 アザレヤの鉢を夏のあいだ外で育てていました。つぼみがたくさん付いたので暖かいうちに居間にとりこんだのですが花がどうもうまく咲きません。どうしたらいいのでしょうか。

答 アザレヤは冬は外で越すことはできませんが、寒さには割合強い方です。零度くらいまでは耐えることができます。暖かいうちに居間などにとりこむと休眠からさめないで、うまく咲かないことがあります。

- ・アザレヤのつぼみは10度以下の低温にあうことによって休眠からさめる。したがって凍らせないよう気をつけるが、寒さには十分あわせることが必要。霜にあてないようにしながら、なるべく遅くまで外に置く。または凍らない程度の低い温度の部屋に置く。
- ・最低温度10度以上保てる所に持ち込むと、30日～50日くらいで開花しはじめる。咲かせたい時期から逆算して暖かい所に置くことよい。
- ・高い温度は好まないのなるべく15度前後がよい。日当たりのいい場所に置く。

庭木類の冬囲い

■ 冬囲いの考え方

冬囲いは、庭木類を寒さの害から守るため、あるいは雪による被害から守るためにおこなう手段であって影観を主体にしたものではありません。

◎「冬囲い」にあたっての注意点をあげると次のようになります。

- 1) 冬季間の常風、強さ等の把握と積雪量と落雪の具合等。
- 2) 枝葉、根の状態の把握と肥料残存状態の把握。(窒素分のききすぎの場合は枝の伸びが軟弱)
- 3) 今夏中の発生状態とその結果の把握。
- 4) 気象条件の把握。(冬囲いしてからの温度上昇は樹木のムレにつながる)

以上の点に注意しながら。

◎ 冬囲いの時期の選定。

◎ それぞれの樹種にあった冬囲いはどのような方法がよいか。

等により冬囲いを行う事が肝要です。

冬囲いにあたってはこの方法でないとダメという様なきまりはないが、一例を参考までにあげると次のような方法があります。

たて割り=灌木類、ツツジ類・コマユミ等小型のものに

(図1) 使う手法で、この方法で充分越冬にたえます

巻き上げ=灌木類に使う手法で枝のまとめづらいもの、

(図2) 1本ずつたてておくと雪害にあう危険性のあるものを複数にまとめる方法。

幹つり=枝つりの変型で小丸太をつかわずに木自体の

(図3) 太い枝をつかって他の枝を吊る方法。

